

標準化されたイメージを介してセキュアクライアントとローミングクライアントの大規模導入を実行

内容

[はじめに](#)

[ディスクイメージに含めるためのUmbrella Roamingクライアントの準備](#)

[手順](#)

[Umbrellaインストールの登録解除](#)

[ホスト名](#)

[重複したIDのトラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、標準化されたイメージを使用してセキュアクライアントとローミングクライアントの大規模展開を実行する方法について説明します。

ディスクイメージに含めるためのUmbrella Roamingクライアントの準備

Umbrellaクライアントを新しいコンピュータにインストールすると、登録プロセス中に一意のデバイスIDが作成されます。

クライアント登録プロセスが完了した後にディスクイメージを準備すると、一意のデバイスIDも複製され、そのデバイスIDを使用しているすべてのUmbrellaクライアントは、同じポリシーを受け取り、同じIDとして報告します。したがって、ディスクイメージを適切に作成し、デバイスIDの重複を回避するには、手順に従う必要があります。

手順

セキュアクライアント/AnyConnect/スタンドアロンローミングクライアント

ディスクイメージを作成する方法は、すべてのUmbrellaクライアント*で同じです。クライアントをインストールする際には、ワークステーションがオフラインであることを確認し、ソースコンピュータの登録を阻止します。

1. Umbrellaクライアントが最新バージョンであることを確認します。
2. ネットワークからコンピュータを削除します
3. イメージにUmbrellaクライアントを含め、通常どおりにイメージを準備します。ネットワークに再接続しない

4. コンピュータがオフラインのときにイメージを作成する
5. エンドポイントが最初にイメージから作成され、ネットワークに接続されると、Umbrellaソフトウェアは登録が完了していないことを検出し、ダッシュボードに登録します。

AnyConnectおよびスタンドアロンのRoaming Clientは、現在ではSecure Clientに置き換えられています。新規インストールの場合は配置しないでください。この手順は、これらのクライアントに対して後代のために提供されます。

Umbrellaインストールの登録解除

Umbrellaに登録済みのソースコンピュータで作業している場合は、イメージを準備する前にクライアントの登録を解除する必要があります。これは、ソースコンピュータをネットワークから切断する代わりとなる方法です。

ディスクイメージを作成する前に、これらのファイルとフォルダを削除してください。この場合、ファイルを削除するためにシスコサービスを停止しなければならないことがあります。

セキュアクライアント(Windows):

```
%PROGRAMDATA%\Cisco\Cisco Secure Client\Umbrella\OrgInfo.json  
%PROGRAMDATA%\Cisco\Cisco Secure Client\Umbrella\data\ (folder)
```

セキュアクライアント(OSX):

```
/opt/cisco/secureclient/umbrella/OrgInfo.json  
/opt/cisco/secureclient/umbrella/data/ (folder)
```

AnyConnect :

```
%PROGRAMDATA%\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility Client\Umbrella\data\  
%PROGRAMDATA%\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility Client\Umbrella\OrgInfo.json
```

Anyconnect(OSX):

```
/opt/cisco/anyconnect/umbrella/OrgInfo.json  
/opt/cisco/anyconnect/umbrella/data/ (folder)
```

ローミングクライアント(Windows):

%PROGRAMDATA%\OpenDNS\ERC\RoamingProfile.json
%PROGRAMDATA%\OpenDNS\ERC\OrgInfo.json

ローミングクライアント(OSX):

クライアントを再インストールする必要があります。クライアントをアンインストールし、このファイルを削除してから再インストールしてください。

/Library/Application Support/OpenDNS Roaming Client/ (folder)

すべてのクライアント:

Umbrellaダッシュボードから移行元コンピュータのRoaming Computer IDを削除します。

ホスト名

重要: コンピュータのホスト名は、正しく登録するためにネットワーク内で一意である必要があります。コンピュータをネットワークに接続する前に、一意のホスト名をプロビジョニングする必要があります。

ホスト名が変更されましたか。登録後にコンピュータのホスト名が変更された場合は、Umbrellaダッシュボードから古い名前を手動で削除できます。新しい名前は、クライアントのサービスが次回起動したときにダッシュボードに表示されます。

重複したIDのトラブルシューティング

これらの手順に正しく従わないと、複数のコンピュータが同じホスト名を使用して報告する登録が「重複」する可能性があります。問題の症状には、次のものがあります。

- [Deployments > Roaming Computers]のコンピュータのリストに、展開されたクライアントの数が正確に反映されない
- レポートのすべてのトラフィックが同じデバイスに属している

この問題を解決するには:

- クライアントソフトウェアが最新バージョンにアップデートされていることを確認します
- すべてのコンピュータに一意のホスト名が指定されていることを確認します。
- Deployments > Roaming Computersからクライアントを削除します。
- 最近のバージョンのUmbrellaクライアントは、コンピュータまたはサービスの再起動時に自動的に再登録されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。